

経営比較分析表

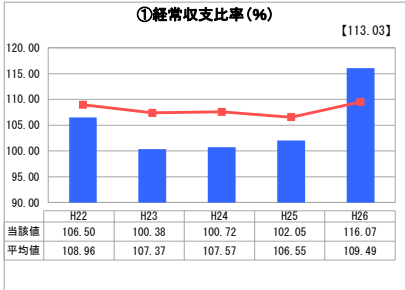
岡山県 矢掛町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A7
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	60.51	99.45	3,250

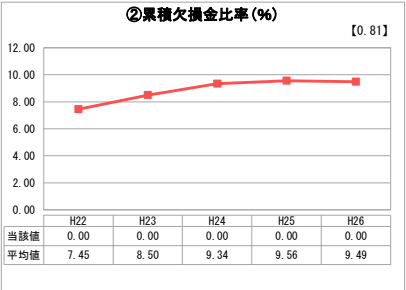
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
14,989	90.62	165.40
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
14,840	90.62	163.76

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成26年度全国平均

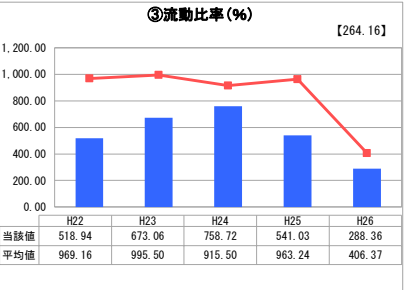
1. 経営の健全性・効率性



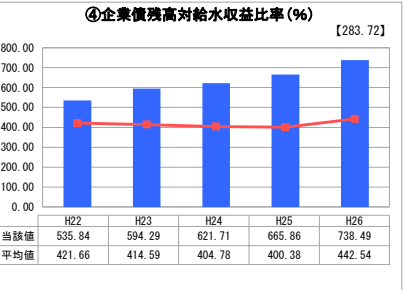
「経常損益」



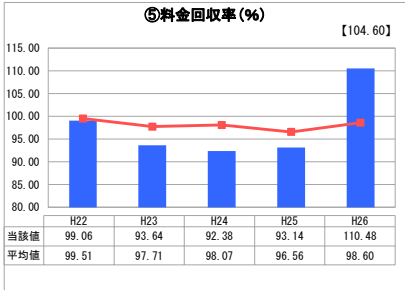
「累積欠損」



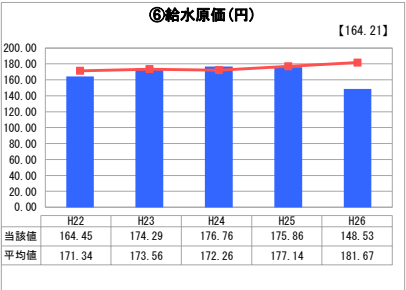
「支払能力」



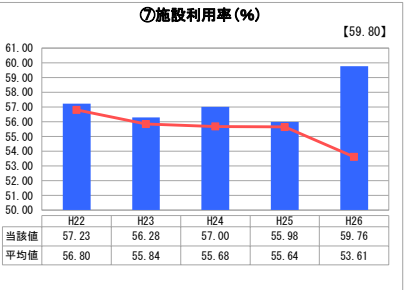
「債務残高」



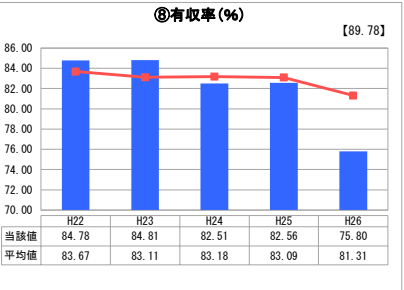
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

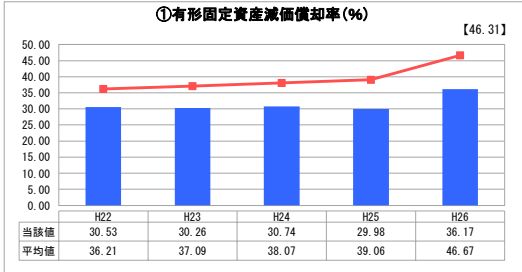


「施設の効率性」

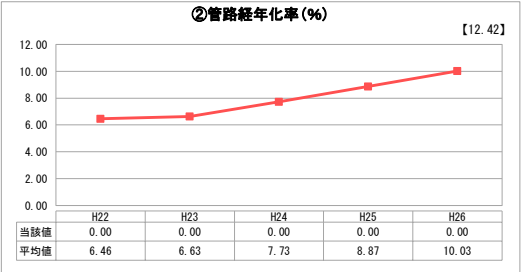


「供給した配水量の効率性」

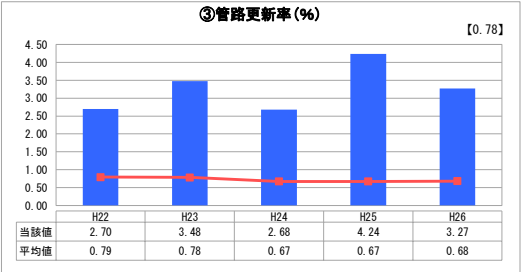
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率及び料金回収率が平均を上回る水準となっているが、今後、給水収益の減少や減価償却費の増加による収支の悪化が見込まれるため、有収率対策や長期的な視点での投資計画の策定及び財源確保等の経営改善を図る必要がある

2. 老朽化の状況について

今後、施設等の更新のために多額の投資が必要となるため、投資計画の策定や老朽化対策が必要である。

全体総括

現状の経営指標ではおおむね健全経営となっているが、今後、急激な人口減少に伴う給水収益の減少や、老朽施設等の大量更新に伴う減価償却費の増加が見込まれており、長期的な視点での経営環境は非常に厳しい状況であるため、適正な投資計画を策定するとともに、事業継続に向けた抜本的な経営改善の取組が必要である。現在、長期経営計画の策定に着手しており、平成28年度末策定予定である。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。